

学習の手引き

令和8年度版
第7学年



国語



理科



数学



社会

八王子市立いずみの森義務教育学校



英語



音楽



保健体育



技術・家庭



美術



学習の手引き

学年 7年生	教科 国語	担当 宮本 萌音
--------	-------	----------

(1) 学習の目標

- ・相手にわかりやすく伝えられるように工夫して話をするができる。
- ・相手の発言を注意して聞き、相手の工夫や良さを見つけて自分に取り入れることができる。
- ・自分の考えを表記や語句の用法などに注意して、時間内に文章にまとめることができる。
- ・場面の展開や人物の描写を踏まえて、登場人物の心情の変化を捉えることができる。
- ・筆者の考え方とその根拠を把握して、的確に内容を捉えることができる。
- ・表現技法や言葉の単位や文の成分、品詞、歴史的仮名遣いや漢文訓読のきまりについて理解することができる。

(2) 学習内容

1学期	2学期	3学期
○詩 ○文学的文章 ○説明的文章 ○文章作成 ○発表活動 ○話し合い活動	○詩 ○文学的文章 ○説明的文章 ○古文・漢文 ○文章作成 ○発表活動 ○話し合い活動	○文学的文章 ○説明的文章 ○古文 ○文章作成 ○発表活動 ○話し合い活動

(3) 評価の観点及び方法

I 知識・技能	II 思考力・判断力・表現力	III 主体的に学習に取り組む態度
・定期テスト ・漢字テスト ・小テスト ・書写	・定期テスト ・発表活動 ・作文	・課題の提出と取り組み状況 ・ノートとワークシートの記入内容 ・振り返りシート

(4) 家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
①語句の意味や本文の内容を理解しながら、教科書を何度も音読する。 ②教科書に出てくる漢字の読み書きができるようにする。 ③ワークやプリントの問題を何度も解く。 ④授業で出される課題を仕上げる。	①教科書の音読 ・漢字の読み書きができるようにする。 ・語句の意味や本文の内容を理解する。 ②ノートの見直し ・授業で学習したことを、ノートを見て振り返る。 ③ワーク・プリントの問題を解く ・ワークの問題を解き、赤ペンでマル付けをする。 ・できるようになるまで、何度も解く。

(5) 先生からのアドバイス

- ・授業では、縦書きのノートを使います。あらかじめ買ってください。
- ・忘れ物をした場合は、授業前に必ず先生に伝えましょう。
- ・テストの実施日に欠席した場合は、自分から先生に言いに来てください。個別に対応します。
- ・普段から文字を丁寧に書きましょう。定期テストなどで、読みにくい字を書いた場合は減点の対象になります。
- ・提出物は提出日を守り、見直しをもって早めに取り組みましょう。
- ・テストや発表活動は、実施日や実施回数が限られています。日々の授業を大切に、予習・復習を心がけましょう。

学習の手引き

学年 7年	教科 社会(地理・歴史)	担当 富士縄 新(地理) 小峰 優翼(歴史)
-------	--------------	---------------------------

(1) 学習の目標

【地理的分野】・世界の姿を世界地図や地球儀などを用いて、陸地と海洋の割合と国の位置などを正確に捉える。

・世界の諸地域に関して地形や気候、それぞれの特色について理解する。

【歴史的分野】・歴史の始まりから中世までの歴史の流れや人物、出来事とその関連を捉える。

・様々な資料を読み取り、当時の生活や時代の変化などを理解し、まとめる。

(2) 学習内容

1学期	2学期	3学期
【地理的分野】 ○世界と日本の地域構成 ○世界の様々な地域 ・世界各地の人々の生活と環境 【歴史的分野】 ○歴史の流れと調べ方 ○歴史の大きな流れと移り変わり ・古代	【地理的分野】 ○世界の様々な地域 ・世界の諸地域 【歴史的分野】 ○歴史の大きな流れと移り変わり ・古代 ・中世	【地理的分野】 ○世界の様々な地域 ・世界の諸地域 【歴史的分野】 ○歴史の大きな流れと移り変わり ・中世 ・近世のはじめ

(3) 評価の方法

知識・技能	思考力・表現力・判断力	主体的に学習に取り組む態度
○定期テスト ○カラープリント ○小テスト ○単元のまとめプリント	○定期テスト ○ワークシート ○ファイル ○調べ学習のまとめ	○ファイル(ワークシート) ○定期テストの直し直し ○カラープリント

(4) 家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
○授業のあった日に、その日の内容を振り返る ・教科書を読み(2ページ分)、ファイルを見返す ・授業プリントの振り返りを行う ○定期的に配られるカラープリントを解く	○ファイルなどで授業内容を振り返る ○カラープリントやテスト対策プリントを解く(間違えた問題やできなかった問題は解き直す) ○時間的な余裕があれば自作のまとめノートを作成する とよい

(5) 先生からのアドバイス

・7年生になると、学習内容がこれまでよりも多くなり、地理的な位置や歴史における時代の流れなど、抽象的な内容をあつかいます。授業があった日にファイルを見返し、まとめを完成させ、その日のうちに授業内容を定着させるようにしましょう。なお、地理の授業では授業のまとめは次の授業で毎回提出します。

・プリントやワークシートはそれぞれの考えを表すものです。普段から世の中に関心をもつとともに、自分なりにしっかりと考えて回答しましょう。

学習の手引き

学年	7学年	教科	数学	担当	宮内・高橋(直) 岩崎・高橋(和)・唐亀 (学期によって担当者が変わります)
----	-----	----	----	----	--

(1) 学習の目標

- ①正負の数の計算を定着させて、知識や技能を文字式に活用する。
- ②等式の性質を理解し、式を変形しながら、正確に方程式を解くことができる。
- ③比例, 反比例を表, 式, グラフなどで表し, それらの特徴を理解する。
- ④基本的な作図のしかたについて理解し, それを利用することができるようにする。
- ⑤ヒストグラムや代表値, 相対度数などを用いて, 問題を解決する方法について理解している。

(2) 学習内容

1学期	2学期	3学期
○正の数・負の数 ○文字の式 ○方程式	○方程式 ○変化と対応 ○平面図形	○空間図形 ○データの活用
既習事項の復習		

(3) 評価の観点及び方法

知識・技能	思考力・表現力・判断力	主体的に学習に取り組む態度
定期テスト 単元テスト 休み明けテスト等	定期テスト 単元テスト 休み明けテスト等	提出物(問題集・振り返り・テスト直し・レポート等)の内容 授業観察 単元テスト

(4) 家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容は、すぐに復習し、基礎基本を定着させる。 ・授業で扱った問題を解き直す。 ・問題集に取り組む。 ・間違えた問題の原因を考え、改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容の振り返りを行う。 ・間違えた問題を、解きなおす。 ・難しい問題に挑戦する。(コンパスのB演習問題など) ・「わかる」ではなく「できる」ようになるまで学習する。

(5) 先生からのアドバイス

7年生の数学は、9年生までの学習の土台です。特に、正負の数や文字の式、方程式の計算は、今後多くの場面で活用することになるので、7年生のうちに基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けていきましょう。基礎学力を定着させるためには、学校の授業に集中して取り組むことはもちろんですが、家庭での自主学習も大切です。授業で学んだことはその日のうちに復習し、つまづきを減らしていきましょう。また、定期テストや単元テスト等では、応用問題や考え方を問われる問題も出題されます。基礎学力を固めたあとは、問題集等で応用問題にも挑戦していきましょう。「算数」から「数学」に変わり、数学的表現や概念が増えるため、難しいと感じるかもしれませんが、あきらめずにコツコツ粘り強く学習に励んでいきましょう。

学習の手引き

学年	7年生	教科	理科	担当	菅原・井戸
----	-----	----	----	----	-------

(3) 学習の目標

- ・ 自然の事物・現象の中に問題を見いだす。(⇒不思議だなと感じることや、どうしてだろうと疑問をもつことが大切。)
- ・ 見通しをもって観察、実験などを行う。(⇒何のために観察や実験を行うのか、目的をしっかりと理解して取り組もう。)
- ・ 得られた結果を分析して解釈する。(⇒観察や実験からどんなことが分かるのか、自分の頭でしっかりと考えよう。)
- ・ 単元ごとに振り返りを行い、次の学びにつなげる。

このような学習活動を通して、後期課程での3年間で、「問題を科学的に探究する力」を育ててほしいと考えています。

そのために、7年生では、特に【自然の事物・現象にすすんで関わり、その中から問題を見出すこと】に力を入れていきます。

(4) 学習内容

1学期	2学期	3学期
○いろいろな生物とその共通点 ○光・音・力による現象	○いろいろな生物とその共通点 ○光・音・力による現象 ○身のまわりの物質	○身のまわりの物質 ○活きている地球

(3) 評価の観点及び方法

I 知識・技能	II 思考・判断・表現	III 主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト・小テスト 等 ・実験のパフォーマンステスト※ ・実験への取り組み※ (※基本的な操作が習得できているか) ・ワークシート・レポート (基本的な技能・知識) 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト・小テスト 等 ・ワークシート・レポート (①考察の記述内容 ②表やグラフや図を使ってわかりやすくまとめられているか) ・授業中の発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主レポート・ノート (口頭での論説含む ◎+α ◎継続) ・振り返りシート (◎知識技能の活用 ◎対話を通じた気づき ◎課題解決への試行錯誤) ・イメージマップ (単元の内容に関して ◎自己の成長や変容を表現 ◎用語の量・内容・関係) ・実験等に主体的に取り組む姿勢

(4) 家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
<p>○授業で習ったことは、その日のうちに振り返りましょう。解らないことは、次の授業までに解決しよう。毎日の積み重ねが大事です!!</p> <p>○気になったこと、疑問に思ったことは、どんどん調べてみましょう。授業以外の時間で、主体的に粘り強く学習に取り組むことにより、問題を科学的に探究する力を大きく育てることができます。</p>	<p>○試験は、主に授業で学習したことから出題します。まずは、教科書、ノート、授業で使用したプリントを見直しましょう。</p> <p>○見直しが終わったら、問題集や、プリントを何度も解いて練習してみましょう。初めに解くときには、間違った問題にしるしをつけましょう。2回目・3回目と、間違えた問題にくりかえし取り組むと弱点が克服できます。</p>

(5) 先生からのアドバイス

7年生の理科は、前期課程と比べて、使用する実験器具や薬品が格段に多くなります。実験や観察がたくさんありますので、楽しく学習して理科を好きになってください。また、実験や観察を行う際には、① 結果を分析して考察すること ② 図・グラフ・表などを使って、わかりやすくまとめること を意識して取り組むようにしてください。

学習の手引き

学年 7年	教科 英語	担当 小川 細川 井上 長岡 秋山
-------	-------	-------------------

(1) 学習の目標

【聞くこと】身近な話題について、短い説明の要点やポイントとなる英文を聞き取ることができる。

【読むこと】身近な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができる。

英語の発音や文の区切りを意識して読むことができる。

【話すこと(やりとり)】身近な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。

【話すこと(発表)】身近な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて話すことができる。

【書くこと】身近な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて書くことができる。

(2) 学習内容

1学期	2学期	3学期
Starter	Lesson5	Lesson8
Lesson1	Lesson6	Lesson9
Lesson2	Lesson7	Project3
Lesson3	Project2	Reading Lesson2
Lesson4	Reading Lesson1	
Project1		

(3) 評価の観点及び方法

知識・技能	思考力・表現力・判断力	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・小テスト (単語テスト・リスニングテスト) <ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンステスト ・リーディングテスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・小テスト (リスニングテスト) ・パフォーマンステスト ・リーディングテスト(スピーチ、プレゼンテーション) 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題への取り組み ・授業中の取り組み ・パフォーマンステスト ・リーディングテスト(スピーチ、プレゼンテーション)

(4) 家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
<ul style="list-style-type: none"> ○復習を大切にしよう。 ・学習した単語や表現を繰り返し書く、発音する。 ・BINGO を書いてくる(単語の確認・復習) ・ノートに何回も声を出して読みながら英文を書く。 ・教科書を繰り返し音読する。イントネーションやリンキングを意識する。 ・学習した表現を使って、自分の思いを書いてみる。 ・分からないことは必ず質問し、疑問を解消する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークなどを繰り返し解く。 ○声に出しながら繰り返し英文や単語を書く。 ○プリントや教科書・ワークを見直し授業内容を復習する。 ○長文を読む練習をしておく。 ○自分が伝えたいことを簡単な英語で表現できるようにしておく。

(5) 先生からのアドバイス

7年生の英語では、前期過程で学習したことをもとに、自分のことや身近な人のことについて伝える表現を学習していきます。伝えたいことが相手にきちんと伝わるように、文法や単語の知識を身に付けていく必要があります。復習を大切に、学習したことを定着させていきましょう。

学習の手引き

学年	7年生	教科	音楽科	担当	木下知美
----	-----	----	-----	----	------

(3) 学習の目標

- ・音楽活動の楽しさを体験し、音楽に親しんでいく態度を育てる。
- ・多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付けさせる。
- ・多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。

(4) 学習内容

1学期	2学期	3学期
<ul style="list-style-type: none"> ○歌唱「校歌」「We'll Find The Way ～はらかな道へ」 ○歌唱 合唱コンクール「課題曲」 ○鑑賞「春 -第1楽章-」 ○My Voice! ○指揮 ○楽典・リズム 	<ul style="list-style-type: none"> ○歌唱「浜辺の歌」「赤とんぼ」 ○歌唱 合唱コンクール「課題曲」「自由曲」 ○鑑賞「魔王」 ○楽典・リズム 	<ul style="list-style-type: none"> ○歌唱「卒業式の歌」 ○鑑賞「日本やアジア諸民族の音楽」 ○楽典・リズム

(3) 評価の観点及び方法

I 知識・技能	II 思考・判断・表現	III 主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ワークやプリント ・実技テスト(歌唱・指揮等) ・定期テスト ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークやプリント ・実技テスト(歌唱・指揮等) ・定期テスト ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカード ・授業プリント ・提出物 ・授業態度 ・実技テスト(歌唱等)

(4) 家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
実技教科は週1回しかないので、毎回の授業を大切に積極的に受けてください。分からないことを、すぐに聞くことも大切です。	授業で学習した内容を思い出し、教科書、ワーク、プリントを中心に復習してください。

(5) 先生からのアドバイス

毎回の授業を大切に受けてください。実技教科なので、身体で表現をすること、自分の言葉(文字や発言)で表現することが大切です。音楽の授業で身に付けるべき基本は7年生にあり、その後3年間繰り返し出てきます。7年生のうちにしっかり習得しましょう。歌うこと、音楽を聴くこと、仲間とともに学ぶことが楽しくなるような雰囲気を作りながら、一緒に授業を進めていきましょう。

学習の手引き

学年	7年	教科	美術	担当	隆藤 さえ子
----	----	----	----	----	--------

(1) 学習の目標

- ①ものごとを捉える造形的な視点について理解する。
- ②意図に応じて表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- ③自然や美術作品などの良さや美しさ、表現の意図や工夫、機能美を感じる。
- ④美術の働きについて独創性・総合的に考え、主題を生み出し、豊かに発想し、構想を練る。
- ⑤主体的に活動に取り組み、心豊かな生活を想像していく態度を養う。

(2) 学習内容

1学期	2学期	3学期
○鉛筆で遊ぼう! ○3原色と色の3つの性質、色相環 ○表現の技法 ○モダンテクニック ○オリジナルバッグを作ろう	○鉛筆デッサン ○レタリング ○絵文字制作	○岡本太郎について学ぼう ○粘土で表す、心の形

(3) 評価の観点及び方法

I 知識・技能	II 思考・判断・表現	III 主体的に取り組む態度
対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。表現方法を創意工夫し、 <u>創造的に表している。</u>	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、 <u>主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。</u>	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。
定期テストの筆記問題、作品提出状況(時間内に完成を原則とする)、作品の途中経過、完成作品	下描き用紙(アイディア)、発想用ワークシート、定期テストの実技問題、美術史ワークシート、プレゼンシート、鑑賞シートの内容	授業観察、発想用ワークシート、美術史ワークシート、 <u>振り返りシート</u>

(4) 家庭学習方法

通常の学習方法	テスト前の学習
○発想の手助けとなるような資料(本や写真、イラストの手本など)を準備する。 ○思いついたアイディアがあれば、スケッチやメモなどをしておいて、それを授業に持ち込む。また、授業以外の時間でも発想や構想を練っておくとスムーズに制作できる。 ○作品の制作意図や、他者の作品を見て思ったことを具体的に説明する。	○筆記問題については、テスト範囲の内容を繰り返しノートに書き写すなどして覚える。(技法や美術史、作家に関する内容が多い。) ○記述問題も出題するので、日ごろから自分の考えを文章にまとめる練習をしておく。

(5) 先生からのアドバイス

- 日ごろから身の周りを見て「きれいだな」「素敵だな」「かっこいいな」と、感動する気持ちを大切にしてください。良いものを見て感動したら、メモやスケッチ、画像などを残しておくことで授業にも生かれます。
- 発想や構想を練る段階で、時間がかかってしまう生徒が多いです。授業時間内に発想や構想の段階で止まってしまうと、その先が進まなくなってしまう、下描きを描いたり色を塗ったりする時間が無くなってしまいます。制作の時間配分と、事前準備が重要です。自宅でもアイディアを練るなど授業以外の時間を積極的に活用しましょう。
- 主として学校で制作した状況を評価していきます。制作に遅れが出た場合、原則として、決められた場所と時間に居残りをして遅れを取り戻します。
- 既存のアイディアを参考にするのはかまいませんが、必ず自分なりの工夫を加えましょう。あなたにしかできない作品を期待しています!

学習の手引き

学年	7年生	教科	保健体育	担当	津田・駒沢・久保木
----	-----	----	------	----	-----------

(5) 学習の目標

- (ア) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (イ) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (ウ) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

(6) 学習内容

1学期	2学期	3学期
<ul style="list-style-type: none"> ○陸上競技(短距離走・リレーなど) ○体づくり運動 ○器械運動(マット運動) ○体カテスト ○保健 健康の成り立ち・運動・食生活・休養と睡眠 ○体育理論 運動やスポーツの多様性 	<ul style="list-style-type: none"> ○水泳 ○球技(ゴール型):アルティメット ○ダンス ○球技(ベースボール型):ソフトボール ○保健 体の発育・発達、循環器・呼吸器の発達、生殖機能の発達 	<ul style="list-style-type: none"> ○球技(ネット型):バレーボール ○陸上競技(長距離走) ○柔道 ○保健 心の発達、自己形成、欲求、ストレスによる健康への影響

(3) 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・表現・判断	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・小テスト ・実技テスト ・授業内での技能の習得具合 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・学習カード、保健のプリントの記述内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時の観察 ・学習カード・保健のプリント等における記述

(4) 家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
<p>「知識・技能をどれだけ身に付けたか(習得)」だけでなく、「学習した知識・技能をどのように生かしているか」「自らの考えで、いかに活動の仕方を工夫しているか」「自らの考えで、いかに活動の仕方を工夫しているか」などを常に意識して知識・技能や思考力・判断力・表現力を身に着ける。</p>	<p>【定期テスト】実技の学習カード・保健のプリント、教科書を使って学習する。 授業で説明した内容、学習カードの内容をよく確認する。</p> <p>【実技試験】 単元のはじめに評価の基準を説明するので、単元を通して技能を身に付けられるようにする。</p>

(5) 先生からのアドバイス

- ・各運動種目の特性を理解し、目標をもって運動に取り組みましょう。
- ・自ら進んで学習し、運動の喜びや楽しさを体感しましょう。
- ・仲間と協力し励まし合い、互いに認め合いながら運動に取り組みましょう。
- ・見学の場合は、決められた手順をとり、見学態度を考えて見学しましょう。
- ・試験(実技、記録測定、定期テストなど)を頑張りましょう。普段から授業を大切にしましょう。

学習の手引き

学年	7年生	教科	技術科	担当	伊達裕二
----	-----	----	-----	----	------

(1) 学習の目標

- ・生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。
- ・生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

(2) 学習内容

1学期	2学期	3学期
○材料と加工の技術 ・木材、金属、プラスチックの性質 ・板材で製作するものの設計(CAD)	○材料と加工の技術 ・板材で製作するものの設計(CAD) ・板材を使った製作	○材料と加工の技術 ・板材を使った製作

(3) 評価の観点及び材料

項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観点	・基本的な知識を身に付け、生活と技術とのかかわりについて理解している。 ・生活に必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。	・生活について見直し、課題を見付け、その解決を目指して自分なりに工夫し創造している。 ・見通しをもって安全に作業できる。	・生活や技術について関心を持ち、生活を充実向上するために進んで(試行錯誤でいねいに粘り強く)実践しようとする。
材料	・定期考査 ・実技	・定期考査 ・実技	・提出物の内容 ・作業の様子

(4) 家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
・授業中はメモを取る(提出)。 ・材料、エネルギー、生物育成、情報などに関心をもつ。 ・作ってみる、修理してみる。	・授業内容の復習。 ・授業プリント、教科書を理解する。

(5) 先生からのアドバイス

- ・社会で起きているいろいろな問題に興味をもちましょう。
- ・自分で考えて作ってみたり、簡単に捨てずに修理してみたりしよう。

学習の手引き

学年 7年生	教科 家庭	担当 梶木美穂
--------	-------	---------

(7) 学習の目標

- ・体を作ることに不可欠な活動のエネルギーとなる栄養や食材を知り、日常の食事を考える。
- ・中学生に必要な栄養を知り、活動に適した献立を考える。
- ・食文化としての様々な食事を知り、自分の食生活を考える。
- ・基本的な調理技能や道具の使い方を身に付ける。

(8) 学習内容

1学期	2学期	3学期
<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス(授業内容と受け方) ・食事の役割と栄養素の種類と働き ・中学生に必要な栄養 ・食品群と摂取量 	<ul style="list-style-type: none"> ・生鮮食品と加工食品 ・食事バランスガイド ・栄養素と働きの復習とまとめ ・食品の選択と購入 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の保存と食中毒予防 ・調理実習 ・バランスの良い献立づくり ・地域の食文化

(9) 評価の観点及び方法

I 知識・技能	II 思考・判断・表現	III 主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ワークノートや授業プリントへの記録と考察 ・定期テスト ・調理実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・献立づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物への取り組み状況 ・ワークノートや授業プリントへの取り組みと振り返り状況 ・「食」に関する情報収集 ・調理実習への取り組み状況

(4) 家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
<ul style="list-style-type: none"> ・指示された作業や課題に取り組む。 ・毎日の食事に関心を持ち、食材の名前や調理方法を知ろうとする。 ・「食」に関するニュースを見たり読んだりする。 ・家の中で、食生活に関する仕事を任せてもらえるよう行動する。 ・自分の食事や生活を健康なものにするよう行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書・プリント・ワークノートの内容を見直し、重要な部分を覚える。

(10) 先生からのアドバイス

- ・授業内容をプリント等にしっかり記録してください。
- ・栄養素名やその働き、食品の分類を覚えてください。
- ・「食べる」ことに意識を向けてください。時々、料理に入っている食材の名前を確認し、しっかりと見て、味わって食べてください。また、自分で調理をするといろいろなことに気を配らないとうまく作業ができないことがわかってきます。自分の意識を高めていきましょう。